

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月27日		記入者	内線	2522
部 名	市民部	課 名	消費生活課	課長名	小林良司
事務事業名	計量検査等事業				
予算上の事務事業名	計量検査等事業費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23230		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 安心できる消費生活の実現				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
計量法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 指導・規制・許認可 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
正確な計量器の使用及び適正な計量を確保し、経済の安定・発展と市民生活の安全、安心を図る。			業務用計量器		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に商店や工場などで取引、証明に使用されているはかりの精度等を確認する検査を神奈川県計量協会に委託して実施した。 ○ はかり・燃料油メーター・ガスメーターなどの計量器が正しく使われているか、市内のスーパー等で詰め込まれる食品の表示内容量が正しいかなどについて店舗や事業所などに立ち入り、検査を行い、正しい計量の指導監督を行った。 ○ 市内の事業所における計量の管理状況を調査・立入検査し、適正な計量管理の指導を行った。 ○ 適正な計量管理を自ら積極的に推進しようとする事業所に対して、申請に基づき検査し、県に適正計量管理事業所の指定検査の報告を行った。 ○ 正量取引強調月間運動や計量管理強調月間運動を実施し、消費者や事業者の計量に関する啓発・普及を実施した。 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内には、横浜市、川崎市、横須賀市、小田原市、平塚市、茅ヶ崎市、大和市、厚木市、本市の9市が、県から計量検査等事業の移譲を受けて、同様の事業を実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	3,064	443	4,032	6,253	6,253
一般財源	3,064	443	4,032	6,253	6,253
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	16,020	16,140	16,140	16,140
事業コスト合計(a)	11,454	16,463	20,172	22,393	22,393
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	はかりの定期検査			対象名称(単位)	はかりの台数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	0	3,855	5,559	3,855
対象数	0	0	1,000	1,500	1,000
単位あたり経費(円)			3,855	3,706	3,855
前年度比				0.96	1.04

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明				
立入検査不適正事業者率	不適正事業者数/立入検査事業者数×100	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
実績		0.0	4.2	0.0	
目標		0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明				
はかりの定期検査合格率	合格台数/検査台数×100	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
実績		0.0	0.0	98.2	
目標		0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	良好な状態を維持する事業			
	[]	概ね良好な状況である事業			
	[]	見直しを行う必要がある事業			
	[]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		合併に伴い、4町との計量事務の円滑な実施を推進していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 法令等の規定を踏まえながら、事前規制から事後チェックの方向性にそった制度・施策を検討していく。			14 課題として認識されたこと 計量モニターの見直し		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			